

OLYMPUS

2024年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期業績見通し

オリンパス株式会社 | 2024年2月14日

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料内に、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

OLYMPUS



CEO Remark

オリンパス株式会社 | 社長兼CEO シュテファン・カウフマン | 2024年2月14日

令和6年能登半島地震の影響

☑ 被害の状況について

- 人的被害：
当社グループ従業員への被害は特段発生なし
- 営業拠点の状況：
当社グループの金沢支店と新潟支店には特段の被害なし
- 生産部材のサプライヤーの状況：
地震の影響により、部品サプライヤーにおいて操業を停止。なお、操業再開の時期は未定
- 当社の対応：
状況が不透明なことから念のため日本の工場での新たな内視鏡製品の生産のスピードを落とす予定。また、内視鏡製品の修理およびサービス対応を優先し、患者さんへのケアと医療機器製品の供給を維持する

☑ 業績への影響について

- 2024年3月期の業績見直しには、売上高に約240億円の影響額を織り込む。2025年3月期の業績等に与える影響は現在確認中
- 減産に伴う減収分については、来期に確保するため、当該サプライヤーと緊密に連携し、早期の操業再開に努めている



2025年3月期からの執行役体制



竹内 康雄

取締役 代表執行役 会長兼 ESG
オフィサー (ESG担当役員)



シュテファン・カウフマン

取締役 代表執行役 社長兼 CEO
(最高経営責任者)



フランク・ドレバロウスキー

執行役 エンドスコープソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高内視鏡事業責任者)



新任

倉本 聖治

執行役 セラビューティックソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高治療機器事業責任者)



新任

泉 竜也

執行役 チーフファイナンシャルオフィサー
(最高財務責任者)



異動

ガブリエラ・ケイナー

執行役 チーフストラテジーオフィサー
(最高経営戦略統括責任者)



小林 哲男

執行役 チーフマニュファクチャリングアンドサブ
ライオフィサー (最高製造供給責任者)



アンドレ・ローガン

執行役 チーフテクノロジーオフィサー
(最高技術責任者)



新任

ボリス・シュコルニック

執行役 チーフクオリティオフィサー
(最高品質法規制責任者)



大月 重人

執行役 チーフヒューマンリソースズオフィサー
(最高人事総務責任者)

Key Message

総合的な品質変革プログラム「Elevate」の順調な進捗

- FDA指摘事項への対応と将来に向けた変革はどちらも順調に進捗
- 患者さんの安全に最も重点を置き、新たなコアバリューを制定

中国や出荷停止などの一時的な要因を除き堅調な成長

- 北米においてEVIS X1のローンチに成功
- 政策の影響を受けた中国を除けば、第3四半期（10-12月）は売上高+4%（為替影響調整後）と堅調に成長

M&Aや他社協業を通じ、ケア・パスウェイの強化を加速

- 消化器用メタリックステントメーカー-Taewoong Medical社の買収により、さらなる医療水準の向上に寄与し、消化器科市場におけるポジションを一段と強化
- ソニーとの協業により、次世代内視鏡システムのソフトウェア開発力を強化し、開発サイクルの短縮を目指す
- キヤノンメディカルシステムズと超音波内視鏡システムの技術進化および診断性能向上に注力することを合意

OUR PURPOSE
私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling
世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

OUR CORE VALUES



PATIENT FOCUS

患者さん第一

私たちは、いかなる時も患者さんを最優先に考えて行動します



INTEGRITY

誠実

私たちは、正しい行動を取ります



INNOVATION

イノベーション

私たちは、物事をより良くするために、新しい方法を追求します



IMPACT

実行実現

私たちは、結果に対する責任を持ち、やり遂げます



EMPATHY

共感

私たちは、お互いを思いやり、協力し合います

売上成長を牽引する消化器科領域

北米における消化器科領域で顕著な成長

消化器内視鏡

北米での売上割合



消化器科の学会DDW
(Digestive Disease Week) (2023/5)



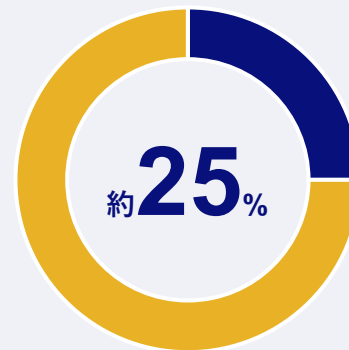
米国消化器病学会 (2023/10)

北米におけるFY2024 3Q成長率

+9%*

消化器科処置具

北米での売上割合

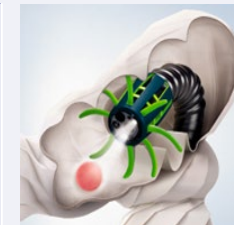


北米におけるFY2024 3Q累計成長率

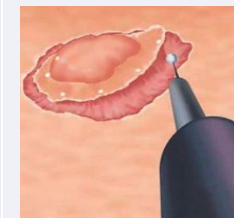
+15%*

注力領域

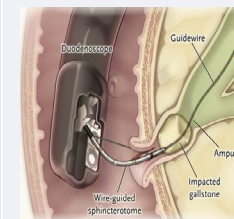
大腸がんの
検出**



大腸がんの
治療



肝胆膵疾患



* 為替影響調整後の成長率 ** 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

Taewoong Medical社の買収により、消化器科疾患における ケア・パスウェイ戦略とポジションを一段と強化




肝胆膵疾患


市場規模
10億ドル超



- 十二指腸内視鏡
- 超音波内視鏡
- EVIS X1 内視鏡システム
- VisiGlide2 ガイドワイヤ
- CleverCut3 パピロトーム
- NeedleCut3V プレカットナイフ
- Multi-3V Plus バルーンカテーテル
- StoneMasterV ESTナイフ+ 拡張用バルーン
- MaxPass バルーンダイレータ
- NEW! METAL STENT*
- NEW! 高周波アブレーション **/**

➤ スtentを提供する地域を拡大（日本と中国を含む）
 ➤ 内視鏡による軟部組織アブレーションの手技をグローバルに展開



 Taewoong Medical社の買収により、肝胆膵疾患領域内外に新たなセグメントを開拓することで成長を促進

*医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております **STARmed社と長期的なグローバル独占販売契約を締結

OLYMPUS

2024年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期業績見通し

オリンパス株式会社 | 執行役 CFO 武田 睦史 | 2024年2月14日

第3四半期及び累計実績

✓ 引き続き、地域別では全分野で成長したアジア・オセアニア、セグメント別では医療サービスが好調に推移し、増収。成長投資や事業運営基盤強化、効率性向上のためのプロジェクト費用に加え、Veran Medical Technologies社関連の損失計上などにより減益

- 売上高： 連結で+5%成長。医療分野は3Q及び累計において過去最高の売上高
- 調整後営業利益： 持続的成長に向けて、総合的な品質変革プログラム「Elevate」、イノベーション、生産性向上を目的とした事業運営基盤の整備・強化などへの投資を継続し、減益
- 当期利益*： 科学事業（エビデント）の譲渡に伴う譲渡益を計上し過去最高の2,352億円、EPSは192円
- その他： FDAと建設的な対話を行いつつ、警告書によって指摘された課題への対処は順調に進捗

通期業績見通し

✓ 能登半島地震の影響など社内外のさまざまな要因による影響を踏まえ、修正。向かい風が続く中、課題への対策を積極的に講じるとともに、持続的な成長に向けた投資を継続する

- 売上高： 前期比5%増の9,240億円を見込む
- 調整後営業利益： 前期比18%減の1,450億円、調整後営業利益率は15.7%を見込む
- 当期利益*： エビデントの譲渡益を計上し過去最高の2,520億円、EPSは208円となる見通し

*親会社の所有者に帰属する当期利益。2016年3月期までは日本基準、2017年3月期以降はIFRS。2023年4月に非継続事業（エビデント）の全株式の譲渡が完了したことに伴い、本株式譲渡に係る譲渡益を2024年3月期第1四半期連結会計期間に計上しています

01

2024年3月期 第3四半期 連結業績および事業概況

2024年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

- 1 売上高：連結で+5%成長。医療分野は3Q及び累計において過去最高の売上高
- 2 調整後営業利益：持続的成長に向けて、総合的な品質変革プログラム「Elevate」、イノベーション、生産性向上を目的とした事業運営基盤の整備・強化などへの投資を継続し、減益
- 3 当期利益*：科学事業（エビデント）の譲渡に伴う譲渡益を計上し過去最高の2,352億円、EPSは192円

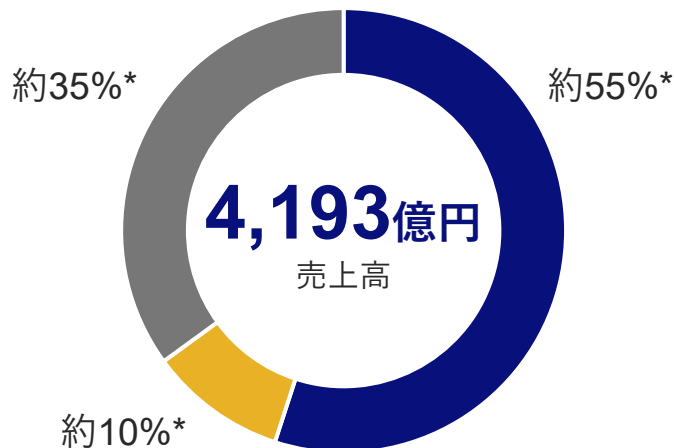
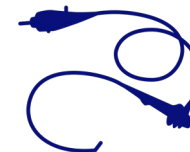
第3四半期累計実績（4-12月）

第3四半期実績（10-12月）

(単位：億円)		第3四半期累計実績（4-12月）				第3四半期実績（10-12月）				
		FY2023	FY2024	前期比	為替影響調整後	FY2023	FY2024	前期比	為替影響調整後	
継続事業**	売上高	6,415	6,757	1	+5%	+1%	2,245	2,391	+6%	+2%
	売上総利益 (売上総利益率)	4,337 (67.6%)	4,514 (66.8%)		+4%	▲1%	1,562 (69.6%)	1,630 (68.2%)	+4%	▲1%
	販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	3,061 (47.7%)	3,409 (50.5%)		+11%	+7%	1,076 (47.9%)	1,193 (49.9%)	+11%	+6%
	その他の収益および費用など	149	▲715		-	-	3	▲95	-	-
	営業利益 (営業利益率)	1,426 (22.2%)	390 (5.8%)		▲73%	▲77%	490 (21.8%)	342 (14.3%)	▲30%	▲37%
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,281 (20.0%)	1,102 (16.3%)	2	▲14%	▲22%	488 (21.7%)	436 (18.2%)	▲11%	▲18%
	税引前利益 (税引前利益率)	1,394 (21.7%)	330 (4.9%)		▲76%		500 (22.3%)	340 (14.2%)	▲32%	
	継続事業からの当期利益 (継続事業からの当期利益率)	1,056 (16.5%)	75 (1.1%)		▲93%		361 (16.1%)	190 (7.9%)	▲47%	
	非継続事業からの当期利益	28	2,281		+2,253億円		53	▲1	▲54億円	
	当期利益	1,084	2,356		+117%		414	189	▲225億円	
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,082	2,352	3	+117%		414	189	▲225億円		
EPS	85円	192円				-	-			

*親会社の所有者に帰属する当期利益。2016年3月期までは日本基準、2017年3月期以降はIFRS
 **「売上高」から「継続事業からの当期利益」までの数値は、継続事業の数値を記載
 ***2023年4月に非継続事業（エビデント）の全株式の譲渡が完了したことに伴い、本株式譲渡に係る譲渡益を2024年3月期第1四半期連結会計期間に計上しています

2024年3月期 第3四半期実績 ②内視鏡事業



(単位: 億円)	FY2023		FY2024	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	1,405	3,990	1,484	4,193
営業利益	418	1,107	327	836
その他の損益**	▲9	▲23	▲41	▲119
調整後営業利益	427	1,130	368	955
営業利益率 (為替影響調整後)	29.7%	27.7%	22.0% (21.0%)	19.9% (18.9%)
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	30.4%	28.3%	24.8% (23.9%)	22.8% (21.8%)

FY2024 vs FY2023 (10-12月) 売上高成長率

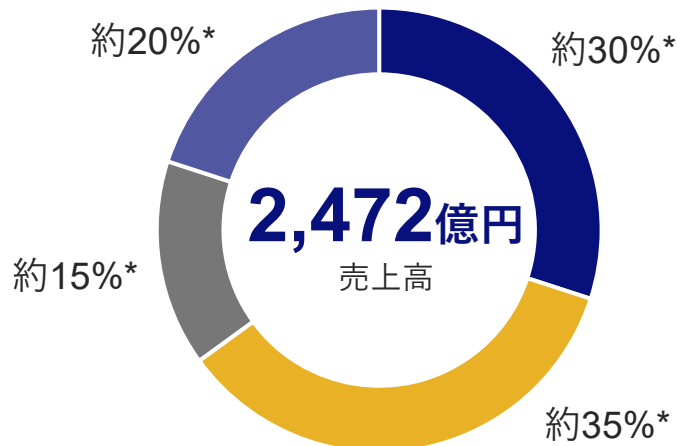
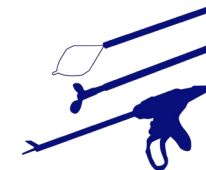
為替影響
調整後

円ベース
為替込み

■ 消化器内視鏡	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> 中国での反腐敗運動による入札活動の遅れなどの影響を大きく受け、減収。消化器内視鏡システム「EVIS X1」を販売開始した北米では為替影響調整後+9%の成長。 	1%
■ 外科内視鏡	1%	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」が好調に推移している日本、欧州、アジア・オセアニアが増収に貢献の一方、事業環境が厳しい中、一部製品の出荷停止による影響を受けた北米と中国で減収。 	6%
■ 医療サービス	8%	<ul style="list-style-type: none"> 保守サービスを含む既存のサービス契約の安定的な売上や、新規契約の増加もあり、全地域でプラス成長 	14%
合計	1%		6%

*四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります **決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

2024年3月期 第3四半期実績 ③治療機器事業



(単位: 億円)	FY2023		FY2024	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	810	2,339	875	2,472
営業損益	183	481	124	▲162
その他の損益**	13	12	▲38	▲585
調整後営業利益	170	470	162	423
営業利益率 (為替影響調整後)	22.6%	20.6%	14.1% (14.0%)	-
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	21.0%	20.1%	18.5% (18.6%)	17.1% (17.0%)

FY2024 vs FY2023 (10-12月)
売上高成長率

為替影響
調整後

円ベース
為替込み

■ 消化器科処置具	9%	<ul style="list-style-type: none"> 北米を中心に好調に推移。肝胆膵疾患（ERCP製品など）や、大腸がんの検出（ENDOCUFF VISION***など）、大腸がんの治療（ESD/EMR製品など）の領域で成長が顕著 	14%
■ 泌尿器科	▲2%	<ul style="list-style-type: none"> 主要製品を含み一時的な出荷停止や供給不足が発生した影響や競争環境の激化が見られた北米に加え、反腐敗運動による入札活動の遅れなどの影響を受けた中国で減収 	3%
■ 呼吸器科	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> 一部製品の供給不足や反腐敗運動による入札活動の遅れなどの影響に加え、前年COVID関連の補助金効果が見られた中国で減収。Veran Medical Technologies社製品の販売終了も影響 	2%
■ その他の治療領域	7%	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーデバイスを中心に売上が増加。他社製品の取り扱い終了前に需要が増加した日本が増収に寄与 	12%
合計	3%		8%

*四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります **決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値 ***医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

財政状態計算書

- ☑ エビデント譲渡による現金・利益の増加と為替影響（約620億円）の一方、自己株式取得により現預金1,600億円*が減少
- ☑ Veran Medical Technologies社の減損を主因にのれん・無形資産が減少
- ☑ エビデントの株式譲渡完了に伴い、売却目的で保有する資産および、それに直接関連する負債の額が変動

(単位：億円)	2023年3月末**	2023年12月末	増減額		2023年3月末**	2023年12月末	増減額
流動資産	7,264	7,882	+618	流動負債	4,619	3,800	▲819
棚卸資産	1,630	1,865	+235	社債および借入金	500	800	+300
売却目的で保有する 資産	1,696	-	▲1,696	売却目的で保有する 資産に直接関連する 負債	433	-	▲433
非流動資産	7,823	6,799	▲1,024	非流動負債	4,056	3,382	▲673
有形固定資産	2,387	2,494	+107	社債および借入金	2,901	2,247	▲654
無形資産	1,168	992	▲175	資本	6,412	7,499	+1,086
のれん	1,813	1,728	▲85	自己資本比率	42.4%	51.1%	+8.7pt
資産合計	15,087	14,681	▲406	負債および資本合計	15,087	14,681	▲406

* 総額で1,800億円を予定

**当第3四半期連結累計期間において、2022年12月に買収したOdin Medical Ltd.の取得資産と引受負債の公正価値を修正したことにより、2023年3月末の連結財政状態計算書を遡及修正しています

連結キャッシュフロー計算書

- ☑ FCF： エビデント譲渡益などに係る法人税の支払を主要因に営業CFが減少したものの、エビデントの株式譲渡対価の受領などにより、FCFは大幅増。特殊要因を考慮した調整後FCFは310億円のプラス
 - ☑ 財務CF： 自己株式の取得（1,600億円*）や長期借入金の返済、配当金支払を主要因に、2,408億円のマイナス
- 第3四半期実績（4-12月）**

（単位：億円）		FY2023	FY2024	増減	
継続事業	非継続事業	税引前利益	1,394	330	▲1,064
	営業キャッシュフロー	549	▲129	▲678	
	投資キャッシュフロー	▲379	3,914	+4,293	
	フリーキャッシュフロー	171	3,786	+3,615	
	調整後フリーキャッシュフロー	424	310	▲114	
	財務キャッシュフロー	▲1,124	▲2,408	▲1,284	
	現金および現金同等物期末残高	2,113	3,486	+1,372	

2023年3月期第3四半期（4-12月）の主な特殊要因

営業CF：科学事業の分社化に伴う税金支出・投資など	▲348億円
投資CF：固定資産（土地）の売却による収入など	+191億円
投資CF：投資有価証券、事業・子会社の取得など	▲75億円
投資CF：科学事業の分社化に伴う一時的な資金負担など	▲21億円

2024年3月期第3四半期（4-12月）の主な特殊要因

営業CF：エビデント株式譲渡益に伴う法人税の支払	▲873億円
投資CF：エビデント株式譲渡対価などの受領	+3,852億円
投資CF：エビデントに対する貸付金の回収	+520億円

* 総額で1,800億円を予定



02

2024年3月期 通期業績見通し

通期業績見通し ①連結業績

- 1 売上高： 前期比5%増の9,240億円を見込む
- 2 調整後営業利益： 前期比18%減の1,450億円、調整後営業利益率は15.7%を見込む
- 3 当期利益*： エビデントの譲渡益を計上し過去最高の2,520億円、EPSは208円となる見通し

		(単位：億円)		2024年3月期 11月9日公表見通し	2024年3月期 最新見通し	増減	前回 見通し比	為替影響 調整後	2023年3月期 通期実績	前期比	為替影響 調整後
** 継続事業	売上高	9,580	1	9,240	▲340	▲4%	▲3%	8,819	+5%	▲1%	
	売上総利益 (売上総利益率)	6,500 (67.8%)		6,150 (66.6%)	▲350	▲5%	▲5%	5,968 (67.7%)	3%	▲3%	
	販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,760 (49.7%)		4,700 (50.9%)	▲60	▲1%	▲1%	4,205 (47.7%)	+12%	+7%	
	その他の収益および費用など	▲740		▲880	-	-	-	103	-	-	
	営業利益 (営業利益率)	1,000 (10.4%)		570 (6.2%)	▲430	▲43%	▲44%	1,866 (21.2%)	▲69%	▲76%	
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,745 (18.2%)	2	1,450 (15.7%)	▲295	▲17%	▲17%	1,768 (20.0%)	▲18%	▲28%	
	税引前利益 (税引前利益率)	920 (9.6%)		510 (5.5%)				1,823 (20.7%)			
継続事業からの当期利益	610 (6.4%)		240 (2.6%)				1,380 (15.7%)				
*** 非継続事業	非継続事業からの当期利益	2,280		2,280				56			
継続事業	当期利益	2,890		2,520				1,436			
	親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	2,890 (30.2%)	3	2,520 (27.3%)				1,434 (16.3%)			
	EPS	238円		208円				113円			

*親会社の所有者に帰属する当期利益。2016年3月期までは日本基準、2017年3月期以降はIFRS

**「売上高」から「継続事業からの当期利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

***2023年4月に非継続事業（エビデント）の全株式の譲渡が完了したことに伴い、本株式譲渡に係る譲渡益を2024年3月期第1四半期連結会計期間に計上しています

2024年3月期配当
年間配当18円を予定

通期業績見通し ②セグメント別業績

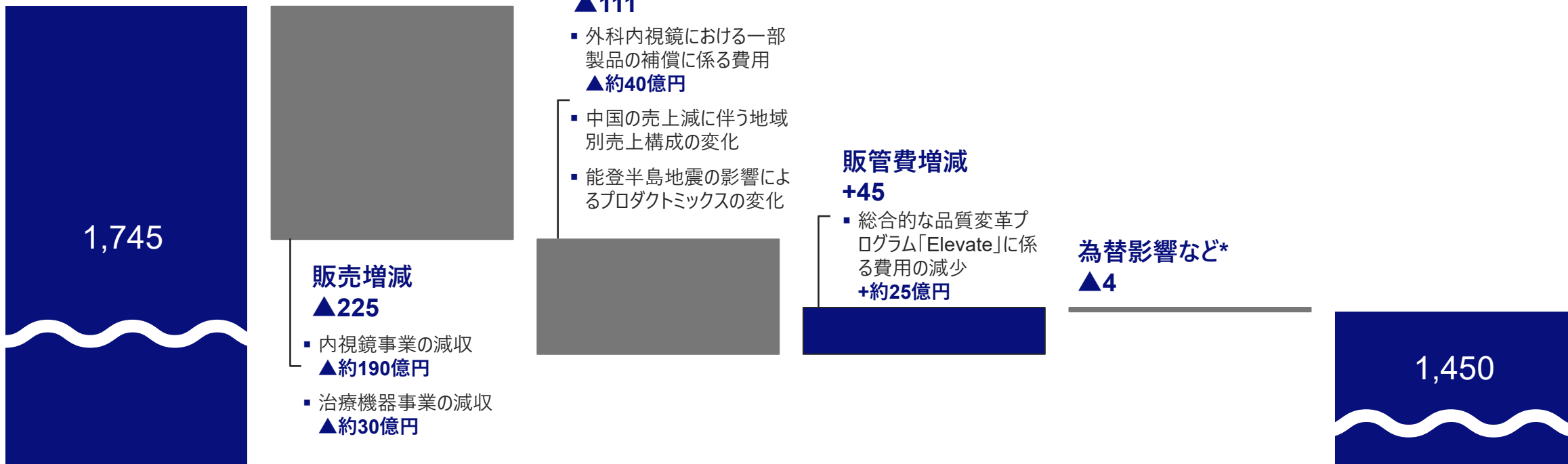
- 1** 内視鏡事業： 能登半島地震や外科内視鏡における一部製品の出荷停止、中国での反腐敗運動による入札活動などの遅れの影響を主因に下方修正
- 2** 治療機器事業： 供給遅延などに伴う売上減少に加え、中国における市場環境や能登半島地震の影響などを考慮し、下方修正
- 3** 非継続事業： エビデントの譲渡益を計上し、前期から大幅増益を見込む

(単位：億円)		2024年3月期 11月9日公表見通し	2024年3月期 最新見通し	増減	前回 見通し比	為替影響 調整後	2023年3月期 通期実績	前期比	為替影響 調整後
内視鏡	売上高	6,040	5,750	▲290	▲5%	▲4%	5,518	+4%	▲1%
	営業利益	1,500	1 1,110	▲390	▲26%	▲26%	1,528	▲27%	▲36%
治療機器	売上高	3,420	3,370	▲50	▲1%	▲1%	3,182	+6%	0%
	営業損益	▲45	2 ▲80	▲35	▲35億円	▲43億円	637	▲717億円	▲727億円
その他	売上高	120	120	-	-	-	119	+1%	▲5%
	営業損益	10	10	-	-	-	▲9	+19億円	+18億円
全社・消去	営業損益	▲465	▲470	▲5	▲5億円	▲6億円	▲289	▲181億円	▲165億円
連結合計	売上高	9,580	9,240	▲340	▲4%	▲3%	8,819	+5%	▲1%
	営業利益	1,000	570	▲430	▲43%	▲44%	1,866	▲69%	▲76%
(参考) 非継続事業	売上高	0	0	-	-	-	1,354	-	-
	営業利益	3,480	3 3,480	-	-	-	70	-	-

*2023年4月に非継続事業（エビデント）の全株式の譲渡が完了したことに伴い、本株式譲渡に係る譲渡益を2024年3月期第1四半期連結会計期間に計上しています

2024年3月期業績見通し 連結調整後営業利益増減要因（前回見通し比）

2024年3月期通期 11月9日公表見通し比



売上高の主な変動要因

能登半島地震による影響	▲約240億円
外部要因（中国での反汚敗運動による入札活動の遅れ など）	▲約110～120億円
サプライチェーン・QA課題に伴う供給不足	▲約90～100億円

（単位：億円）*「持分法による投資損益」が含まれています

OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

参考資料

開示の変更点

2024年3月期第1四半期に科学事業（エビデント）の譲渡を完了したことに伴い、
2023年3月期第2四半期より2024年3月期までは科学事業を非継続事業として開示（国際会計基準）

2022年3月期



2022年4月～2024年3月

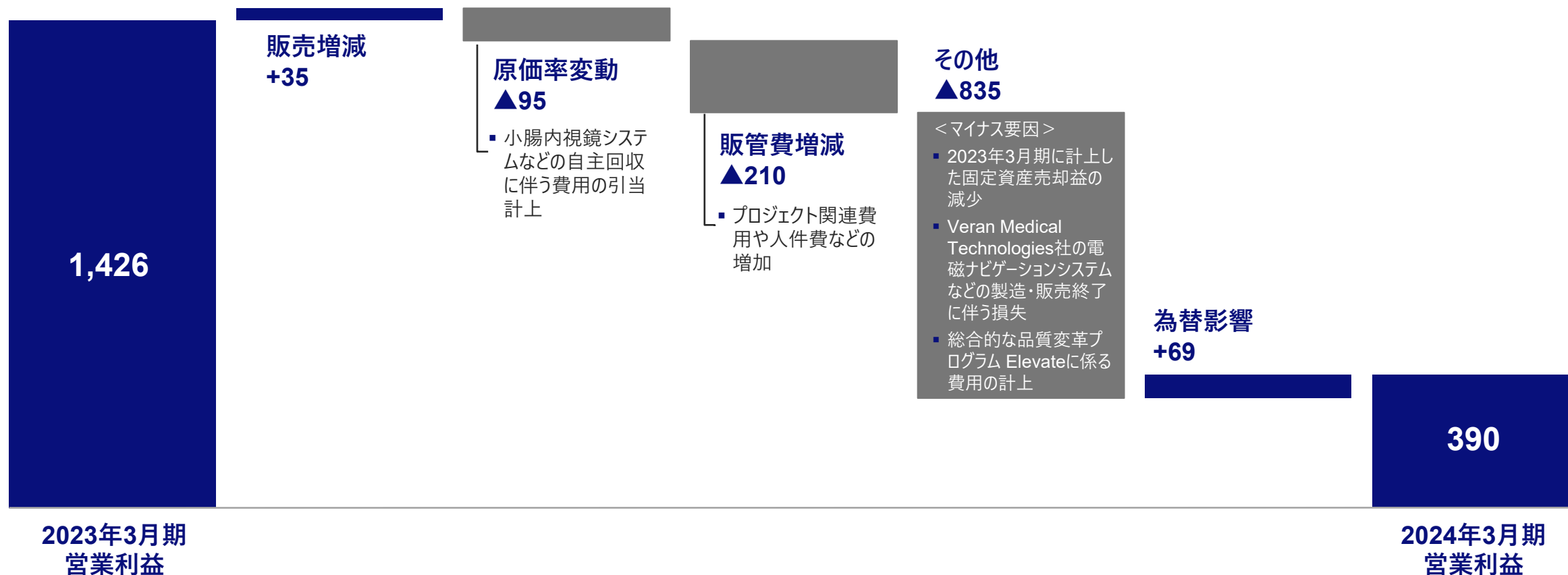


- ✓ 連結業績では、非継続事業からの当期利益（損失）を開示
- ✓ 参考資料として、非継続事業（科学事業）の業績を開示

*2023年3月期第2四半期連結会計期間において、当社は、Bain Capital Private Equity, LPが投資助言を行う投資ファンドが間接的に株式を保有する特別目的会社である株式会社BCJ-66との間で科学事業の譲渡に関する株式譲渡契約を締結しました。売上高、営業利益、税引前利益、継続事業からの四半期利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益については、継続事業及び非継続事業を合算した数値を表示しています。なお、2023年4月に全株式の譲渡を完了しています

2024年3月期 第3四半期実績 連結営業利益増減要因

第3四半期累計実績（4-12月）



(単位：億円) *その他には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています

2024年3月期 第3四半期実績 セグメント別概況

第3四半期累計実績（4-12月）

(単位：億円)		第3四半期累計実績（4-12月）			
		2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	為替影響調整後
内視鏡	売上高	3,990	4,193	+5%	+1%
	営業利益	1,107	836	▲25%	▲31%
治療機器	売上高	2,339	2,472	+6%	+1%
	営業損益	481	▲162	▲643億円	▲639億円
その他	売上高	86	92	+6%	+2%
	営業損益	▲9	10	+19億円	+19億円
全社・消去	営業損益	▲153	▲293	▲140億円	▲136億円
連結合計	売上高	6,415	6,757	+5%	+1%
	営業利益	1,426	390	▲73%	▲77%
(参考) 非継続事業	売上高	910	0	-	-
	営業損益	15	3,481	-	-

第3四半期実績（10-12月）

		第3四半期実績（10-12月）			
		2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	為替影響調整後
		1,405	1,484	+6%	+1%
		418	327	▲22%	▲29%
		810	875	+8%	+3%
		183	124	▲33%	▲36%
		30	31	+4%	▲1%
		▲1	0	+1億円	+1億円
		▲110	▲108	+3億円	+4億円
		2,245	2,391	+6%	+2%
		490	342	▲30%	▲37%
		383	0	-	-
		64	▲1	-	-

その他損益

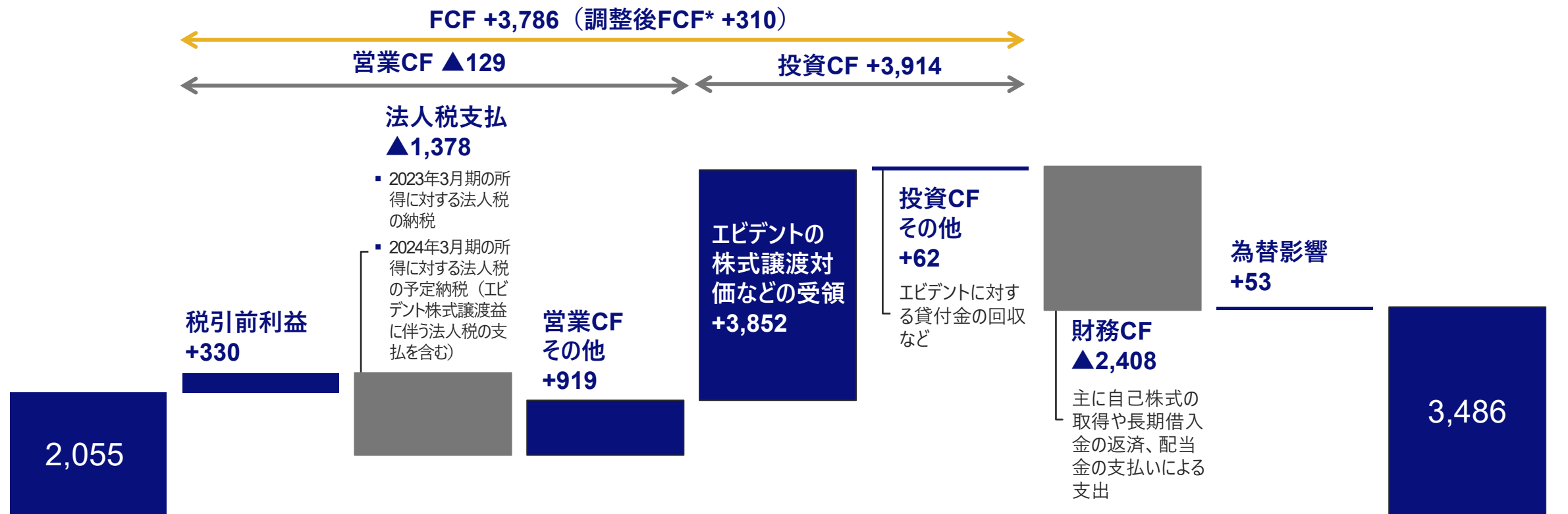
前年同期比

(単位：億円)	FY2023 3Q累計	FY2024 3Q累計	増減
その他の収益	219	33	▲186
主な収益科目	土地売却益 164 Medi-Tate条件付対価戻入 13	コラーゲン事業譲渡益 11	
その他の費用	75	745	+670
主な費用科目	Transform Olympus等費用 22 開発資産減損 11	Veran Medical Technologies社関連損失 508 総合的な品質変革プログラム「Elevate」に係る費用 170 社外転進支援費用 14 開発資産減損 14	

通期見通し比

(単位：億円)	FY2023	FY2024	増減
その他の収益	237	35	▲202
主な収益科目	土地売却益 164 Medi-Tate条件付対価戻入 13	コラーゲン事業譲渡益 11	
その他の費用	139	915	+776
主な費用科目	Transform Olympus等費用 24 開発資産減損 18 総合的な品質変革プログラム「Elevate」に係る費用 19	Veran Medical Technologies社関連損失 509 総合的な品質変革プログラム「Elevate」に係る費用 230 開発資産減損 79 社外転進支援制度の実施に伴う費用の計上 28	

連結キャッシュフロー 増減要因



2023年3月末
現金および現金
同等物期末残高

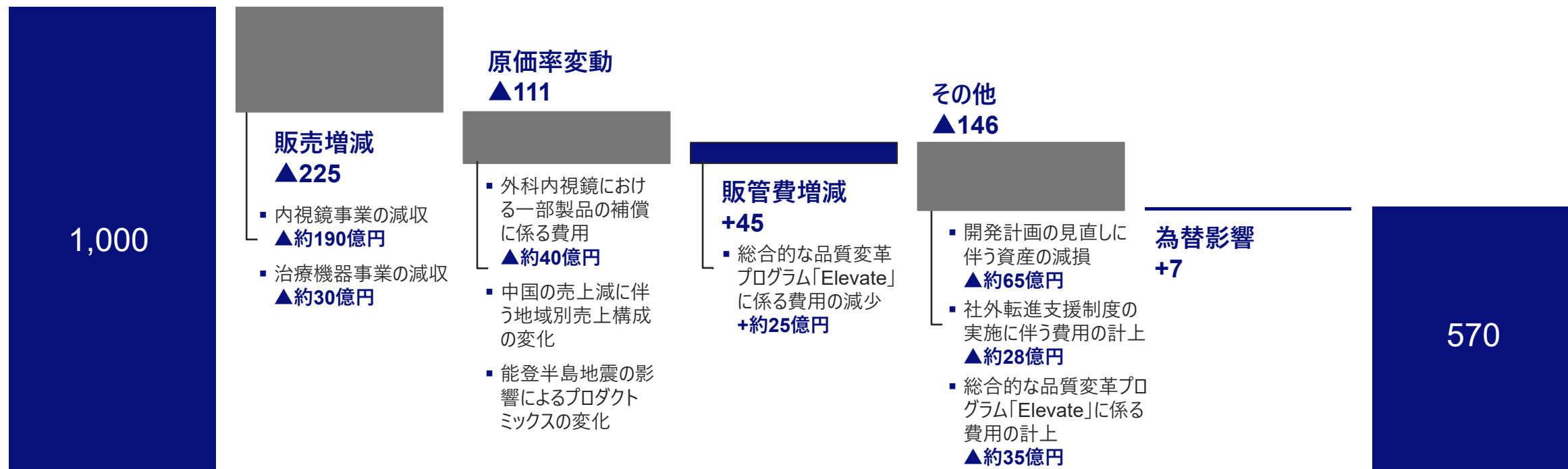
2024年3月期第3四半期（4-12月）の主な特殊要因

営業CF：エビデント株式譲渡益に伴う法人税の支払	▲873億円
投資CF：エビデント株式譲渡対価などの受領	+3,852億円
投資CF：エビデントに対する貸付金の回収	+520億円

2023年12月末
現金および現金
同等物期末残高

2024年3月期業績見通し 連結営業利益増減要因（前回見通し比）

2024年3月期通期 11月9日公表見通し比

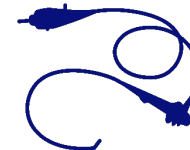


売上高の主な変動要因

能登半島地震による影響	▲約240億円
外部要因（中国での反汚敗運動による入札活動の遅れ など）	▲約110～120億円
サプライチェーン・QA課題に伴う供給不足	▲約90～100億円

（単位：億円）*その他には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています

プロダクトパイプライン：内視鏡事業 (2024年2月14日時点)



2024年3月期の内視鏡事業における重点施策

- 欧州、日本、アジア一部地域において、消化器内視鏡システム「EVIS X1」を拡販
- 米国は2024年3月期中頃に「EVIS X1」を導入することを目指し、中国は導入準備を進める
- 欧州、日本で次世代超音波内視鏡システムの導入を準備
- 新興国の市場ポテンシャルを最大化し、中国では売上を拡大
- 外科内視鏡分野においては、次世代外科内視鏡システムの導入により、収益性を改善

現在の主力製品

消化器内視鏡

- EVIS X1 (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- EVIS EXERA III (米国、欧州)
- EVIS LUCERA ELITE (中国)

外科内視鏡

- VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能 (米国、中国)
- VISERA 4K UHD (米国、中国)
- VISERA ELITE III (欧州、日本)

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器内視鏡

- EVIS X1 (米国、中国)
- EU-ME3 (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- 超音波画像診断装置Aplio i800 EUS (欧州、日本)

外科内視鏡

- VISERA ELITE III (アジア・オセアニア、米国)

中長期のパイプライン

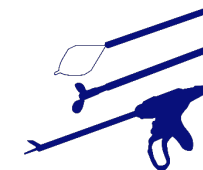
消化器内視鏡

- シングルユース十二指腸内視鏡
- 内視鏡CADプラットフォーム ENDO-AID (日本、米国)

外科内視鏡

- VISERA ELITE III (中国)

プロダクトパイプライン：治療機器事業 (2024年2月14日時点)



2024年3月期の治療機器事業における重点施策

消化器科

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイス など主要カテゴリーにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充

泌尿器科

- 主力製品の経尿道的切除術をサポートするTURisシステムの売上および利益の拡大に加えて、iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリード
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System により、結石破碎治療における成長を拡大

呼吸器科

- 肺がん分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- 「EVIS X1」プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

現在の主力製品

消化器科

- Visiglide
- ESD Knife
- EZ Clip / QuickClip Pro
- EndoJaw

泌尿器科

- レゼクト電極
- トリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System (米国、欧州、アジア・オセアニア)

呼吸器科

- シングルユース気管支鏡 (米国)
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ViziShot
- スパイレーションバルブシステム
- EVIS X1 気管支鏡 (日本、欧州、アジア・オセアニア)

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器科

- 1製品 (米国)
- 6製品 (欧州)
- 5製品 (日本)
- 1製品 (中国)

泌尿器科

- ESG-410 (米国、日本、アジア・オセアニア)
- シングルユース尿管鏡 (米国、アジア・オセアニア、日本)
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System (日本)
- iTind (米国、欧州、アジア・オセアニア)
- レゼクト電極 (中国)
- 硬性尿管鏡 (中国)

呼吸器科

- 新超音波気管支鏡 (米国、中国)
- EVIS X1 気管支鏡 (米国)
- 超音波プロセッサー (欧州、日本、アジア・オセアニア)

中長期のパイプライン

消化器科

- シングルユース胆道鏡

泌尿器科

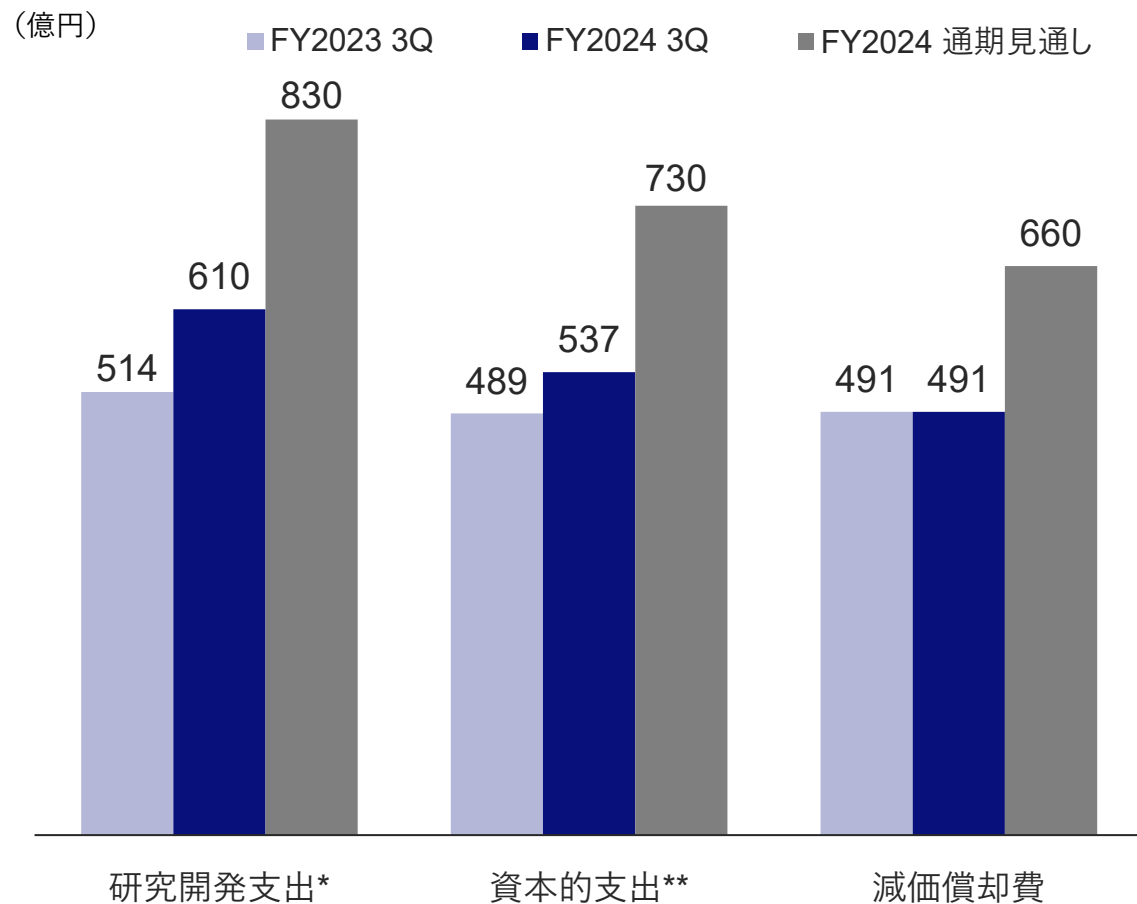
- 膀胱鏡
- カメラヘッド
- ビデオプロセッサー

呼吸器科

- 細径超音波気管支鏡
- EVIS X1 気管支鏡 (中国)

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

第3四半期実績（4-12月）および通期見通し



(単位：億円)

	FY2023	FY2024
研究開発支出* (a)	514	610
開発費資産化 (b)	88	103
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	426	507

(単位：億円)

	FY2023	FY2024
償却費	62	63
	2023年9月末	2023年12月末
開発資産残高	608	626

*研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています

**資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。(FY2023 3Q：88億円、FY2024 3Q：103億円、FY2024 見通し：160億円)

為替レート及び為替感応度

通期見通しの前提となる為替レートは、直近1ヵ月間の平均値を原則としている

為替

(単位：円)	FY2023 1Q	FY2023 2Q	FY2023 3Q	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	前回見通し	FY2024 最新見通し
円／ドル	129.57	138.37	141.59	137.37	144.62	147.89	145	143
円／ユーロ	138.12	139.34	144.30	149.47	157.30	159.11	155	156
円／人民元	19.58	20.19	19.87	19.56	19.94	20.44	20	20

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	25	7
ユーロ（1円あたり）	16	6
人民元（1円あたり）	58	35

*為替感応度（年間）はFY2023Q4実績より算出しています。